

国際関係学部キャリアガイダンス受講教員に関するアンケート結果のとりまとめ

国際関係学部キャリア委員 古井 仁

1. キャリアデザインガイド1の内容と感想について

- (1) 内容は、低学年の学生に分かりやすく記述は具体的である。
- (2) 内容豊富であるが、何が重要で、どこがポイントとなるかが、掴めるとはいいい難い。そのため工夫をしてほしい。たとえば、解説文の中で重要な部分を、太字、ゴシック体に変更するなどして強調してはどうか。
- (3) 大学生活のグランドデザインの具体例から、キャリアデザインに関係付けるプロセスの説明を充実してほしい。
- (4) キャリアという言葉の意味をよく理解していない学生のために、解説してほしい。

2. キャリアデザインガイド1の利用状況について

全体の利用状況は、昨年並であった。ゼミでの利用率が若干上がった。

3. 本学のキャリア教育に関する理解度について

昨年並であった。

4. 本学のキャリア教育に関する今後の具体的な課題について

- (1) SPI対策
- (2) 集団討論対策(集団の中で自分の意見が言える力と度胸の養成)
- (3) 行動力の喚起から習慣化へ
- (4) 基礎的能力の向上

5. 「教職員一体」でキャリア教育に取り組むに際し、「教員」と「職員」の役割分担に関するアイデアや具体的方法について

効果的なキャリア教育プログラムに必要なデータの整備、実行環境を、職員が先導して行う。

6. キャリアガイダンスに参加しての印象や感想について

- (1) 今年のキャリアガイダンスは、就職先内定者、卒業生の講演を設けた。動機付け、行動喚起をはかる上で一定の効果があったと思われる。また、キャリアデザインガイド1で示されたポイントを、講演で再確認できるので良い。
- (2) 卒業生講演を継続的に実施できるよう、資金補助、「人材バンク」を整える必要がある。
- (3) 他のキャリア関連科目の「導線」になるような目的、位置付けで運営してはどうか。

以上